※令和４年度以降入学生用

学校番号	3038

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	（学）国語スーパー演習１	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	『過程の演習　新国語問題集　古典編　第５３集』（京都書房）						
副教材等	『完全マスター古典文法』（第一学習社） 『新明説漢文』（尚文出版） 『理解を深める　核心古文単語 351』（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次「言語文化」の古典領域、および２年次「古典探究」で学ぶ、古文漢文の読解を自力で実践できるようになるための授業です。また、そのなかでより多くの作品に触れ。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
- 古文の文法や漢文の句法を理解できるようにする。
- 古文単語や漢文重要語の意味を理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
- 作品を読み、培った知識及び技能を使い、構成や展開を的確に捉えられるようにする。
- 作品の内容に関して、要旨を端的にまとめられるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】
- 多くの作品に触れることにより、同時代の他の作品への興味関心を養う。
- 先人の作品を通して、現代社会と比較したり、自分に置き換えたりして考える力を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	● 古文の文法や漢文の句法を理解している。 ● 古文単語や漢文重要語の意味を理解している。	● 作品を読み、培った知識及び技能を使い、構成や展開を的確に捉えられている。 ● 作品の内容に関して、要旨を端的にまとめられている。	● 多くの作品に触れることにより、同時代の他の作品への興味関心を養おうとしている。 ● 先人の作品を通して、現代社会と比較したり、自分に置き換えたりして考える力を養おうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	和歌から作者の心情を読み取る。 ［教材］「美濃の家苞」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［(2)イ］ b［　読　］：「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。［A(1)ウ］ c：粘り強く本文の内容を読み解き、学習の見通しをもって作者の考えを説明しようとしている。	ワークシート	ワークシート 小テスト	ワークシート
1	話の展開に込められた工夫について話し合う。 ［教材］「幽明録」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［(2)イ］ b［　読　］：「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。［A(1)エ］ c：粘り強く本文の内容を読み解き、学習の見通しをもって作者の考えを説明しようとしている。	ワークシート	ワークシート 小テスト	ワークシート
1	本文の内容について説明する。 ［教材］「曽我物語」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［(2)イ］ b［　読　］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A(1)イ］ c：積極的に作者の見たものや心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート	ワークシート 小テスト	ワークシート
2	日本文化と『蒙求』の関わりについて調べる。 ［教材］「蒙求」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［(2)イ］ b［　読　］：「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。［A(1)オ］ c：『蒙求』に由来する故事について、粘り強く調査に取り組んでいる。	ワークシート	ワークシート 小テスト	ワークシート
2	作者の心情について考察する。 ［教材］「更級日記」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［(2)イ］ b［　読　］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A(1)イ］ c：積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート	ワークシート 小テスト	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

2	本文の内容について説明する。	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］ b［　読　］：「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。［A⑴エ］ c：	ワークシート	ワークシート 小テスト	ワークシート
	［教材］「戦国策」				
2	登場人物の心情について話し合う。	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］ b［　読　］：「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。［A⑴オ］ c：積極的に登場人物の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート	ワークシート 小テスト	ワークシート
	［教材］「閑居友」				
3	登場人物の心情と人物像について説明する。	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］ b［　読　］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A⑴イ］ c：積極的に登場人物の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート	ワークシート 小テスト	ワークシート
	［教材］「史記」				
3	登場人物の行動や心情を説明する。	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］ b［　読　］：「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。［A⑴ウ］ c：粘り強く本文の内容を読み解き、学習の見通しをもって作者の考えを説明しようとしている。	ワークシート	ワークシート 小テスト	ワークシート
	［教材］「発心集」				
3	登場人物の行動と人物像について考察する。	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］ b［　読　］：「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。［A⑴オ］ c：粘り強く本文の内容を読み解き、学習の見通しをもって作者の考えを説明しようとしている。	ワークシート	ワークシート 小テスト	ワークシート
	［教材］「望渓集」				

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　35　）時間